

福の生まれるまちから 仙台市へ義援金

福生の七夕まつりでつながった支援の輪。その想いを仙台市へ届けます。

今年の福生七夕まつりは仙台一色に染まった。福生の七夕の起源は、戦後復興の象徴であった「仙台七夕まつり」がきっかけ。東日本大震災で被害を受けた仙台市へ、元気を送ることをコンセプトに実施された。基地のまちである福生。七夕「トモダチ」作戦と命名されたミッションで仙台へエールを送った。

作戦は、短冊と義援金をセットにしたワンコイン（500円または5ドル）募金。短冊には、仙台市の復興への願いを書いてもらい、義援金を集めた。

集められた短冊と義援金は、10月に福生市長が仙台市長に届ける予定となっている。

■6月29日（水）から、七夕まつり終了後の8月7日（日）まで行われた。福生駅、拝島駅、市内事業所など12箇所、七夕まつり期間中は、開催会場を中心に17箇所で作戦を実施。作戦への協力は35の団体、事業所。

■友好交流自治体の滋賀県守山市、北海道登別市も参加。

■プロ野球28会と連携し、チャリティオークションを開催。

<仙台市へ届けるもの>

■短冊、1,939枚。そのうち、500枚は、既に、仙台市へ送付。仙台の七夕まつりで飾られた。残り1,439枚は、義援金等とともに仙台市へ送る。

■福生市PTA連合会で折られた折鶴、1万羽。

■義援金総額1,504,720円(プロ野球28会のオークション落札金額を加えた金額)



<仙台市で飾られた福生の短冊>



<今年の福生七夕まつり>

【問合せ】福生七夕まつり実行委員会(シティセールス推進課産業活性化グループ)

電話：042-551-1699